

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)											
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>きたかみがわちゅうりゅう</small> 北上川中流森林計画区 (岩手県)	事業実施主体	東北森林管理局 岩手南部森林管理署											
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、岩手県南西部に位置する北上川中流森林計画区内の国有林野 113,861haである。</p> <p>当計画区は、西側の栗駒山、焼石岳、和賀岳等で構成されている奥羽山脈、東側の室根山や物見山等で構成されている北上高地に大別され、北上川が本森林計画区の中央部を北から南に貫流し、和賀川、胆沢川、磐井川等の中小河川が北上川に注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の64%がブナ類を主とする広葉樹天然林、36%がスギ、カラマツ、アカマツなどの人工林となっている。</p> <p>当計画区内は優れた自然環境を有する地域であり、特異景観を呈している原生的な天然林地域は「栗駒山・栃ヶ森山森林生態系保護地域」に設定されているとともに「栗駒国定公園」、「花巻温泉郷県立自然公園」、「湯田温泉郷県立自然公園」等に指定されている。</p> <p>これらの地域は、登山、湖沼・溪谷散策のほか有名温泉やスキー場等の観光施設が整っているとともに、各交通のアクセスが良好なことから、森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して従来より木材加工業及び製紙産業が発達しているとともに、キノコや山菜を利用した林産物加工業が地域の重要な産業となっているとともに、主要河川の上流に位置する森林は、穀倉地帯の用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、アカマツの評価が高く「東山マツ(アカマツ)」があり、国有林においてもアカマツの供給を通じた産業振興に寄与することが期待できること及び、自然のダムと炭素貯蔵の役割をしており、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減に貢献し、低炭素社会の構築に寄与するとともに木材生産と公益的機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては、地域の要請に応えるとともに森林の有する機能発揮、低炭素社会、地元優良国産材の需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な整備、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <p style="text-align: right;">主な事業内容</p> <table style="width: 100%; margin-left: 40px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td style="text-align: right;">5 3 7 h a</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">7, 6 0 9 h a</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">3 1. 1 k m</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">総事業費</p> <table style="width: 100%; margin-left: 40px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">2, 6 8 1, 8 3 0 千円</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	5 3 7 h a		保育面積	7, 6 0 9 h a	路網整備	開設延長	3 1. 1 k m		2, 6 8 1, 8 3 0 千円
森林整備	更新面積	5 3 7 h a												
	保育面積	7, 6 0 9 h a												
路網整備	開設延長	3 1. 1 k m												
	2, 6 8 1, 8 3 0 千円													
費用対効果分析	総便益(B)	2 0, 0 4 7, 3 3 8 千円												
	総費用(C)	3, 1 7 9, 7 5 5 千円												
	分析結果(B/C)	6. 3 0												
事業評価技術検討会の意見	森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 低炭素社会の構築や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮、地元特産材(アカマツ)や国有林内保健休養地での振興、木材の安定供給等地域の要請に応えるため本事業の実施が必要である。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。 <p style="text-align: center;">新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>													

事前評価表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)									
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>よねしろがわ</small> 米代川森林計画区 (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署									
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、秋田県北東部に位置する米代川森林計画区内の国有林野 100,633haである。</p> <p>当計画区は青森・岩手と県境が接しており、北は十和田湖周辺、南は八幡平の奥羽山脈、西は田代岳を中心とした山地が縦に走っている。主要水系は、米代川で計画区北部を西に向かい横断して流れており、小坂川、熊沢川、早口川等の諸支流を集め日本海に注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の44%がブナ類を主とする広葉樹天然林、56%が主にスギなどの人工林となっている。</p> <p>当計画区内は優れた自然環境を有する地域であり、貴重な森林の連続性の確保や森林生態系の保護・保全を図るため、「十和田八幡平国立公園」、「田代岳県立自然公園」に設定されているとともに「白神八幡平緑の回廊」、「奥羽山脈緑の回廊」、多種多様な保存林や教育林等に指定されている。</p> <p>これらの地域は、登山、湖沼・渓谷散策のほか温泉郷、鉱山、スキー場等の観光施設が整っていると同時に、交通のアクセスが良好なことから、県内外からの森林を利用したレクリエーション、森林教育や保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、当地域は歴史ある林業地域で、豊かな森林資源を利用して木材加工業が発達しているとともに、キノコや山菜を利用した林産物加工業が観光地を生かした地域の重要な産業となっている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、全国ブランドである秋田杉の生産地区であり、国有林においても秋田杉の供給を通じた産業と地域振興が期待できること及び、自然のダムと炭素貯蔵の役割をしており、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減に貢献し、低炭素社会の構築に寄与するとともに木材生産と公益的機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては、地域の要請に応えるとともに森林の有する機能発揮、低炭素化社会、地元優良国産材の需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な整備、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>341ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>10,171ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>34.8km</td> </tr> </table> <p>総事業費 4,867,195千円</p>			森林整備	更新面積	341ha		保育面積	10,171ha	路網整備	開設延長	34.8km
森林整備	更新面積	341ha										
	保育面積	10,171ha										
路網整備	開設延長	34.8km										
費用対効果分析	<table style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益(B)</td> <td>68,411,394千円</td> </tr> <tr> <td>総費用(C)</td> <td>6,496,643千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果(B/C)</td> <td>10.53</td> </tr> </table>			総便益(B)	68,411,394千円	総費用(C)	6,496,643千円	分析結果(B/C)	10.53			
総便益(B)	68,411,394千円											
総費用(C)	6,496,643千円											
分析結果(B/C)	10.53											
事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 低炭素社会の構築や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮、特産材の秋田杉を通じた産業寄与、国有林内景勝地を通じた振興、木材の安定供給等地域の要請に応えるため本事業の実施が必要である。 ・効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。 <p style="margin-left: 20px;">新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)									
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>よねしろがわ</small> 米代川森林計画区 (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 米代東部森林管理署上小阿仁支署									
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、秋田県北中心部に位置する米代川森林計画区内の国有林野 63,461haである。</p> <p>当計画区は東側に森吉山、大仏岳等の1,000m以上の山々、西側に八羽山、姫ヶ岳と800m～500m以下の山々で構成されており、計画区中央を南から北に阿仁川が貫流し、小阿仁川、小又川等の諸支流を集め米代川と合流し日本海に注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の60%がブナ類を主とする広葉樹天然林、40%が主にスギなどの人工林となっている。</p> <p>当計画区内は優れた自然環境を有する地域であり、貴重な森林の連続性の確保、森林生態系の保護・保全を図るため、「森吉山県立自然公園」、「大平山自然公園」に設定されているとともに「八幡平大平山緑の回廊」、「森吉山クマガラ特定動物生息地保護林」、「森吉山風景林」等多種多様な保存林や教育林等に指定されている。</p> <p>これらの地域は、登山、湖沼・溪谷散策のほか伝統文化施設、スキー場等の観光施設が整っており、北秋田市や能代市等の都市部からの森林を利用したレクリエーション、森林教育や保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、当地域は歴史ある林業地域で、豊かな森林資源を利用して木材加工業が発達しているとともに、キノコや山菜を利用した林産物加工業が観光地を生かした地域の重要な産業となっている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、全国ブランドである秋田杉の生産地区であり、国有林においても秋田杉の供給を通じた産業と地域振興が期待できること及び、自然のダムと炭素貯蔵の役割をしており、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減に貢献し低炭素社会の構築に寄与するとともに木材生産と公益的機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては、地域の要請に応えるとともに森林の有する機能発揮、低炭素化社会、地元優良国産材の需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な整備、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px; border: none;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>257ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>5,908ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>24.3km</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">総事業費 1,757,601千円</p>			森林整備	更新面積	257ha		保育面積	5,908ha	路網整備	開設延長	24.3km
森林整備	更新面積	257ha										
	保育面積	5,908ha										
路網整備	開設延長	24.3km										
費用対効果分析	総便益(B)	18,938,239千円										
	総費用(C)	2,151,578千円										
	分析結果(B/C)	8.80										
事業評価技術検討会の意見	森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 低炭素社会の構築や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮、特産材の秋田杉を通じた産業寄与、国有林内レクリエーション施設を通じた振興、木材の安定供給等地域の要請に応えるため本事業の実施が必要である。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。 <p style="margin-left: 20px;">新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業													
事業実施地区名 (都道府県名)	<small>よねしろがわ</small> 米代川森林計画区 (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 米代西部森林管理署											
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、秋田県北西部に位置する米代川森林計画区内の国有林野 45,183haである。</p> <p>当計画区は北は青森県と接する白神山地、秋田内陸部の西傾方向の山地、男鹿半島の山地と大別される。主な山岳は白神山地の二ツ森、冷水岳、内陸部は700m前後で構成されている房住山、馬場目岳などで、主要河川は米代川、馬場目川、藤琴川が日本海に注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の48%がブナ類を主とする広葉樹天然林、52%が主にスギなどの人工林となっている。</p> <p>当計画区内は優れた自然環境を有する地域であり、貴重な森林の連続性の確保や森林生態系の保護・保全を図るため、「白神山地森林生態系保護地域」に設定されているとともに「男鹿国定公園」、「秋田白神県立自然公園」、「きみまち阪県立自然公園」、「大平山県立自然公園」及び多種多様な保存林や教育林等に指定されている。</p> <p>これらの地域は、登山、湖沼・渓谷散策のほか温泉郷、スキー場等の観光施設が整っているとともに、県内外からのキャンプ等の森林を利用したレクリエーション、森林教育や保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、当地域は歴史ある林業地域で、豊かな森林資源を利用して木材市場や木材加工業、合板工場が発達しているとともに、キノコや山菜を利用した林産物加工業が観光地を生かした地域の重要な産業となっている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、全国ブランドである秋田杉の生産地区であり、国有林においても秋田杉の供給を通じた産業と地域振興が期待できること及び、自然のダムと炭素貯蔵の役割をしており、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減に貢献し、低炭素社会の構築に寄与するとともに木材生産と公益的機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては、地域の要請に応えるとともに森林の有する機能発揮、低炭素化社会、優良国産材の需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な整備、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <p> 主な事業内容 <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">森林整備</td> <td style="padding: 2px;">更新面積</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">402ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="padding: 2px;">保育面積</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">7,061ha</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">路網整備</td> <td style="padding: 2px;">開設延長</td> <td style="padding: 2px; text-align: right;">30.7km</td> </tr> </table> </p> <p> 総事業費 <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">2,037,775</td> <td style="padding: 2px;">千円</td> </tr> </table> </p>			森林整備	更新面積	402ha		保育面積	7,061ha	路網整備	開設延長	30.7km	2,037,775	千円
森林整備	更新面積	402ha												
	保育面積	7,061ha												
路網整備	開設延長	30.7km												
2,037,775	千円													
費用対効果分析	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">総 便 益 (B)</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">19,139,235</td> <td style="padding: 5px;">千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">総 費 用 (C)</td> <td style="padding: 5px; text-align: right;">2,463,185</td> <td style="padding: 5px;">千円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">分析結果 (B/C)</td> <td colspan="2" style="padding: 5px; text-align: center;">7.77</td> </tr> </table>			総 便 益 (B)	19,139,235	千円	総 費 用 (C)	2,463,185	千円	分析結果 (B/C)	7.77			
総 便 益 (B)	19,139,235	千円												
総 費 用 (C)	2,463,185	千円												
分析結果 (B/C)	7.77													
事業評価技術検討会の意見	森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 <ul style="list-style-type: none"> 低炭素社会の構築や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮、特産材の秋田杉を通じた産業寄与、国有林内景勝地を通じた振興、木材の安定供給等地域の要請に応えるため本事業の実施が必要である。 ・ 効率性 <ul style="list-style-type: none"> 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 <ul style="list-style-type: none"> 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。 <p style="margin-left: 20px;">新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>													

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)									
事業実施地区名 (都道府県名)	しょうない 庄内森林計画区 (秋田県)	事業実施主体	東北森林管理局 庄内森林管理署									
事業の概要・目的	<p>本計画の対象は、山形県北西部に位置する庄内森林計画区内の国有林野92,508haである。</p> <p>当計画区は鳥海山系及び朝日山地から日本海沿岸に西傾しており、主な山岳は鳥海山、月山、摩耶山、以東岳等の朝日連峰までの山形県内陸部を走る山岳地帯で構成されており、主要河川は最上川、梵字川、大鳥川などが日本海に注いでいる。</p> <p>林況は、林地面積の85%がブナ類を主とする広葉樹天然林、15%が主にスギなどの人工林となっている。</p> <p>当計画区内は優れた自然環境を有する地域であり、低地から高山帯まで広範な植生帯が存在し「朝日山地森林生態系保護地域」、「鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊」に設定されているとともに「磐梯朝日国立公園」「鳥海国立公園」、「庄内海浜県立自然公園」等に指定されている。</p> <p>これらの地域は、登山、湖沼・溪谷散策のほか温泉、名勝やスキー場等の観光施設が整っているとともに、キャンプ等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>また、豊かな森林資源を利用して従来より木材加工業が発達しているとともに、キノコや山菜を利用した林産物加工業が地域の重要な産業となっているとともに、主要河川の上流に位置する森林は、穀倉地帯の用水源等として重要な役割を担っている。</p> <p>これらの地域に所在する森林は、自然のダムと炭素貯蔵の役割をしており、適切な森林整備とこれらを通じて供給される木材の有効活用を図ることが二酸化炭素の排出削減に貢献し、低炭素社会の構築とバイオマス利用を推進している当地区に寄与するとともに木材生産と公益的機能を発揮することとなる。</p> <p>このため、本事業においては、地域の要請に応えるとともに森林の有する機能発揮、低炭素化社会、国産材需給率向上に向け、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能区分に応じた適切な整備、間伐材等の木材利用推進に資することを目的とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">主な事業内容</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td style="text-align: right;">429ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">2,605ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">18.7km</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">総事業費 1,190,999千円</p>			森林整備	更新面積	429ha		保育面積	2,605ha	路網整備	開設延長	18.7km
森林整備	更新面積	429ha										
	保育面積	2,605ha										
路網整備	開設延長	18.7km										
費用対効果分析	総便益(B)	8,907,889千円										
	総費用(C)	1,384,047千円										
	分析結果(B/C)	6.44										
事業評価技術検討会の意見	<p>森林整備を行うことで、木材生産等を通じた地域振興への寄与及び森林の公益的機能が発揮されることから事業の必要性が認められる。</p>											
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 低炭素社会の構築や国土保全及び水源涵養等の公益的機能の発揮、バイオマス事業の推進、木材の安定供給等地域の要請に応えるため本事業の実施が必要である。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 ・ 有効性 国有林の地域別森林計画に即した事業内容であり、地域特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能を十分に発揮させる有効な事業と認められる。 <p style="margin-left: 20px;">新規地区採択にあたって、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえ、森林の機能に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>											